

各 位

2016年10月3日
株式会社 北陸銀行

ブロックチェーン技術等を活用した国内外為替一元化検討に関する コンソーシアムへの参加について

株式会社北陸銀行（頭取 庵 栄伸）は、SBIホールディングス株式会社（本社：東京都港区、代表取締役執行役員社長：北尾 吉孝、以下「SBIホールディングス」）及び SBI Ripple Asia 株式会社（本社：東京都港区、代表取締役：沖田 貴史、以下「SBI Ripple Asia」）が事務局を務める「国内外為替の一元化検討に関するコンソーシアム」に参加することで、合意いたしました。

ブロックチェーン技術は、FinTechにおける革新的な中核技術として期待されており、本コンソーシアムは、欧米の金融機関を中心に利用が進んでいる米国Ripple社のブロックチェーン技術を用いた次世代決済基盤を活用して、外国為替および国内為替を一元化する新たな決済プラットフォームの構築を目指しております。

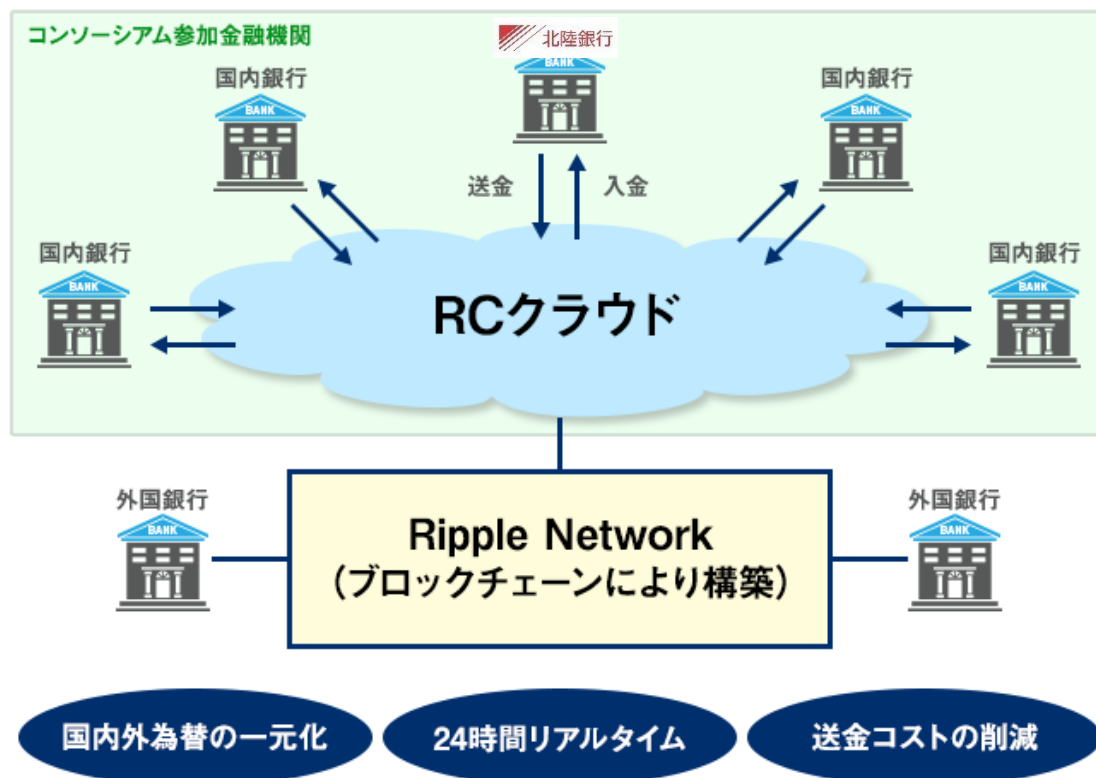
当行では、本コンソーシアムに参加し、振込の24時間リアルタイム化、低コスト化による少額決済対応、企業の海外進出に伴うボーダレス化に対応する国内外送金の一元化等、社会の変化に伴い拡大するニーズへ対応する、新たな送金・決済サービスの検討を進めてまいります。

当行では、金融テクノロジーを活用することにより、お客さまの利便性向上、地域の活性化に向けた金融サービスの提供に取り組んでまいります。

以上

本件に関する照会先 株式会社北陸銀行 総合企画部 Tel:076-423-7111
--

【ご参考まで】



本コンソーシアムでは、米Ripple社の次世代決済基盤「Ripple Connect」(※1)を用いて、外国為替に加えて内国為替も一元的に行う決済プラットフォーム「RCクラウド」を、2017年3月を目処として構築を目指しております。

(※1)「Ripple Connect」とは、FinTech分野を先導するベンチャー企業である米Ripple社が提供する次世代決済基盤です。海外送金では複数の中継銀行を経由するため、時間やコストの不確実性等が問題となっておりましたが、「Ripple Connect」では、送金側と着金側をマーケットメーカー(※2)で直結させることで送金コストの削減、取引時間の短縮を実現するとともに、プロセスの可視化が容易となります。

(※2)マーケットメーカー(market maker)は、特定の通貨に関して一定量の在庫を持ち、売り値と買い値をほぼ日常的に参加者に提示して実際にその価格で参加者との売買に応じる銀行やその他金融機関等のこと。

以上